

平成19年度第1回(4月)理事会議事録

- ◇ 日 時：平成19年4月12日(木)午後6時30分～8時11分
- ◇ 会 場：社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者：森嶋、今井、運天、大垣、清水、竹浦、田畑、高橋、井戸田、北中
出野、山田、酒井、神農、宮野、東野、村上、事務(岩崎)
- ◇ 欠席者：高田、吉本、荒木
- ◇ 議 長：森嶋

【 討議内容 】

I. 行動報告(3月分)

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・平成19年4月21日臨床検査データ共有化事業全国代表者会議を開催。
- ・平成19年9月9日輸血業務一元化推進事業の成果を検証するための研修会を開催。
- ・平成19年11月16日日臨技創立55周年記念式典を開催予定。
- ・平成19年11月17日公益社団法人認定を視野に入れた都道府県会長会議を開催予定。
- ・平成18年第2回定期総会が終わった。予算は会報JAMT参照

日臨技事業活動を進めるに当たり

- ①国民の視点に立った臨床検査
- ②安全な医療の構築と質の高いデータの供給
- ③2本の柱を支えるための組織強化、日臨技と都道府県技師会の連携を挙げた。

2. 近臨技

4月11日理事会開催

- ・第47回近畿医学検査学会・第50回日本臨床検査医学会近畿支部総会主催に、第27回日衛協近畿支部学術研究発表会の名を入れることを提案し、承認された。
- ・日本医学検査学会会場は、土日開催で行なう。開催地エリア区分の適応は、平成22年5月開催予定の第59回日本医学検査学会からとする。
- ・チーム医療の導入、参加ノウハウに関し、日臨技の総合管理部門の研修会が行なわれ、参加者と講師が一体になってチーム医療について考えるというアクションプランを作成した。
- ・JICA本邦研修事業を取り巻く背景は、ODA予算が昨年に引き続き縮小のため、研修の見直しをする。
- ・研修会を立案するときのルールが提案され承認された。
- ・学会プログラムの概要を説明した。

3. 事務局

〈総務部〉 部会開催(3月14日)

- ・3月理事会開催準備
- ・第47回近畿医学検査学会の進捗状況について報告。

- ・ 施設連絡者会および総会の対応・準備について討議した。
- ・ 賛助会員の対応について討議した。
- ・ 公益法人制度改革について討議した。

〈会計〉

- ・ 1 月度収支計算書を作成。

〈広報〉

- ・ 大臨技ニュース 3 月号発行。
- ・ 大臨技ホームページ更新。

〈渉外部〉 部会開催 (3 月 20 日)

- ・ 今年度事業の反省を行なった。
- ・ 来年度事業の計画と役割分担を討議。

4. 事業局

〈情報組織部〉 部会開催 (3 月 15 日)

- ・ 平成 19 年度事業 (4/21 収支管理研修会) について、進行方法と役割分担を検討。
- ・ 平成 19 年事業 (8/18 新入会員研修会) について、担当者と内容を検討。

〈地区事業部〉 部会開催 (3 月 15 日)

- ・ 平成 19 年 3 月 17 日 施設連絡者会
阿倍野区民センター地下 1 階小ホール 15:00~16:50 に関して検討した。
- ・ 第 10 回大臨技フォーラム 平成 19 年 6 月 16 日 (土) に関して検討した。

〈学部〉 部会開催 (3 月 27 日)

- ・ 学会奨励賞について検討した。

III. 福見秀雄賞について

朝山均 前会長に決まる。(祝賀会を検討)

IV. 「看護の日」について

5 月 11 日・12 日 ナーシングアート大阪にて開催

大臨技協力事業計画 (案) として簡易血糖測定コーナー、尿検査測定コーナー、超音波検査コーナーを提案する。

V. 精度管理専門委員会について

東大阪市保健所より推薦依頼があり、関西医科大学附属枚方病院の大倉 ひろ枝氏を推薦。

VI. 第 2 回大臨技教育セミナー (案)

日時：平成 19 年 7 月 21 日 (土) 14:00~17:20

場所：JICA 大阪 2 階ブリーフィングルーム

VII. その他 なし

【 議 題 】

I. 職員就業規則の見直しについて検討

定年後の継続雇用に対し、従来の就業規則第 53 条に定年に達しても満 65 歳まで嘱託規程に基づき雇用を継続することが出来ることを追加する。嘱託規程と非常勤職員就業規則

についても承認された。

II. 近畿医学検査学会について

- ・ 会場視察報告
混雑緩和のため整理券方式を採用。
- ・ 会場掲示について
会場掲示内容一覧案の提示があり、増える可能性あり。
- ・ 運営委員の配置について
会場のポスター掲示とクロークは、メーカーから動員。
- ・ 学会案内ポスターの発送について
5月号大臨技ニュースと同送。
近臨技は、発送済み。
- ・ 演題申込方法について
JAMTISの学会詳細ページに掲載。
発表分野にチーム医療分野を追加。
- ・ 特別企画司会者および演者依頼について
輸血検査部門が未決定のため依頼状未作成。
- ・ 一般演題発表者表彰について
整合性を持って行なう。(本年度は見送り)
次回に検討。近臨技学術部会に提示後、近臨技理事会に提示。
- ・ ホームページ対応について
リンクが出来、学会長挨拶、案内が掲載。
- ・ 企業参加企画の対応について
請求書、お礼状と領収書を兼ねた書面も作成済み。
- ・ 合同会議について
4月、5月の学会準備、予定の会場割付、日程表の提示。
演題募集について、議題提案。
- ・ 企業参加者申込について
広告の締め切り6~7月迄。
- ・ その他
実行委員会内の役割分担を、担当別会議を持ち準備を進めていかねばならない。
(施設、地区の協力も含め)
参加人数の確保

III. 決算総会について

タイムスケジュール案に沿って行なう。

日時：19年5月23日(水) PM 6:30~PM 7:50

場所：大阪市立大学医学部 医療研修センター 研修室B

阿倍野メディックス7階

IV. 教育施設への大臨技奨励賞授与について

学校側の依頼で、式典等に奨励賞を考えていく。(広報活動の一環として)

V. その他

- ・ 臨床検査データ共有化に関して近畿の機関病院が参加できる環境を希望あり。

